

精神障がい者リハビリテーションフォーラム

地域定着に支援必須

精神障がい者が地域で暮らし定着するための取り組みについて考える「精神障がい者リハビリテーションフォーラム」が9日、那覇市の県立博物館・美術館で開かれた。



登壇者が、精神障がい者が地域で生活し定着するための支援について発表した。那覇市・県立博物館・美術館

谷中さんは1970年、埼玉県大宮市現・さいたま市に、精神障がい者が地域で定着するための支援や職場を開拓する「やどかりの里」を開設した。

当事者の力生かせる場を

精神障がい者の社会生活を支援する、NPO法人「ふれあいセンター」理事長の儀間光徳さんは、自身も病気を発症したが、支援を受けたことで社会で生活し、支援する側として活動している。

トラムでまちづくり



フランス例に 藤井さん講演

フランスの新たな公共交通導入を提言している沖縄経済同友会地域・経済活性化委員会は8日、トラム(新型路面電車)を導入し、先進的なまちづくりを取り組むフランス・ストラスブールに詳しい、ビジネスコンサルタントの藤井由実さんを講師として、トラム導入の必要性を説明した。

フランスの大都市ストラスブールのトラムを取り入れたまちづくりについて話す。藤井由実さん(那覇市・南西地域産業活性化センター)が講演した。入。それまでの道のりは平坦ではなかった。地下鉄を推す党派もあり、侃々諤々の議論が10年続いたという。

レインボーアライアンス沖縄の砂川秀樹さん



セクシュアルマイノリティ(性的少数者)が生きやすい社会づくりを目指す「レインボーアライアンス沖縄」は、うないフェスティバルに参加。代表の砂川秀樹さん(44)はジェンダーやセクシュアリティを研究する文化人類学者。



すながわ・ひでき 1966年生まれ、那覇市出身。東京大学大学院で文化人類学で21年間HIV・AIDSの民間活動にも従事、厚生労働省の研究調査に関わる。現在、東大大学院総合文化研究科学術研究員。

性的少数者の理解促す

「レインボーア」とは。「LGBT(レスビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー)などの性的少数者が生きやすい社会を実現するため、当事者だけでなく、賛同する支援者が一緒に活動する団体。『レインボー』は世界的に性的少数者の象徴。性というのはクラクションで多様な意味が込められている。4月に沖縄に拠点を移し、会を発足したばかり。今回が初めての活動」

「実行委員会から声を掛けていただいた。うないは沖縄を代表する女性活動の一つ。草の根的な活動をしてきた人たちが、いろんな実感を持っていて立ち上げてきた運動で、興味があった。ジェンダーの問題は、性的少数者の問題でもある。参加できて良かった」

「LGBTについて、沖縄だけでなく日本全体だが、血をつなぐ、家を継ぐというところに重きを置く社会なので苦しい思いをしている人も多くいかもしれない。特に地方では当事者が活動に参加したりの発信しづらかったりする。周りの支援が重要になると思う」

「LGBTについては誤解も多し。例えば男性が男性を好きになる『ゲイ』と、体の性別と性自認(自分の性別の意識)が一致しない『両性愛』が混同されている。メディアの中では『おねえ』というくくりで全て一纏めにされる。気付いていないだけで誰の周りにもLGBTの人はいらる。この機会に基本的な知識を深めてほしい」

うないフェスは20、26日、那覇市内で開催。「レインボー」は25日午後6時半からそなすホールでドキュメンタリー映画「ハーヴェイ・ミルク」上映とトークセッション。社会を変えるためにを行う。千円(高校生以下500円)。

紙面に関するご意見や情報をお寄せください。電話098(860)3553、ファクス098(860)3484、メール kurashi@okinawatimes.co.jp 「くさくさ」投稿は400字。題名、氏名、住所、年齢、電話番号は欄外に。あて先は千900-8678 沖縄タイムス学芸部くらし班。採用者には図書カードを進呈します。

父の目覚まし時計

津波 ヒロ子



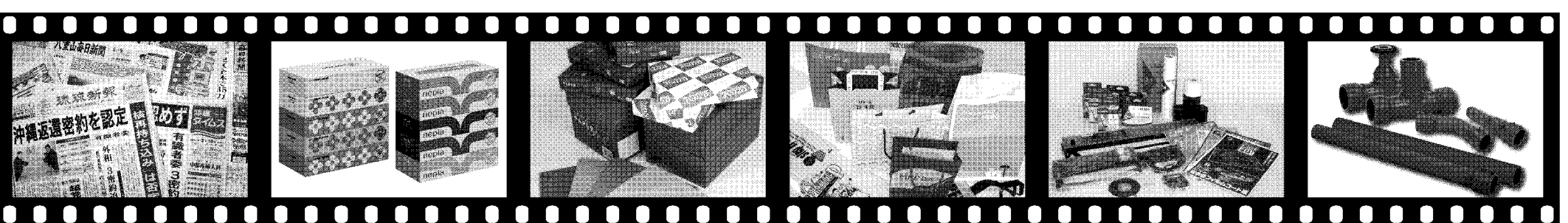
父が他界して20年。守備で働いていたの古い目覚まし時計が出てきた。忘れ形見である時計は止まり、薄くなった文字で名前が書かれている。偉大な父を思い出した。

「在りし日の父が使用し目覚まし時計、色あせ職場の茶室に見つけぬ」

両親は、9人の子宝に恵まれ、祖父母と13人の大家族であった。食べる食材も半端ではなかった。母は黙って家族が食べて最後に食べたのかなと聞いていた。私は「そういえば、いつ食事していたか」と笑って言った。

幼いころから、働きつめの父の大きな背中を見て育った。今では、総勢60人近くの大家族である。お父さんの器の広さは、私たちの自慢です。日々感謝の心で頑張っています。偉大な父上様の目覚まし時計、大切にします。「亡き父の、手の形に似るわが手なり、太く大きくぬくもりあり」。 (読者村、59歳)

貧血防止に鉄分摂取 人が1日に失う鉄分は約1mg。月経のある女性の場合にはさらに1日当たり0.5〜1.0mgの鉄が失われ、補わないと貧血になります。貧血を防ぐには、主に動物性食品に含まれるヘム鉄と、主に植物性食品に含まれる非ヘム鉄を食事と一緒に取るのが大事です。鉄だけを摂取すればいいわけではなく、鉄の吸収を高めるビタミンCや、ヘモグロビンの材料になるタンパク質も一緒に取る必要があります。



おかげさまで60年 福山商事株式会社 代表取締役社長 福山俊行 〒901-2556 沖縄県浦添市牧港四丁目14番17号 TEL(098)876-1111 FAX(098)876-4094

